



新春 **伊東ひであき** インタビュー

日野市政の課題

日本維新の会は日野市議会議員選挙（2月11日告示、2月18日投票）に新人で元議員秘書の伊東ひであきさんの公認を決定しています。伊東ひであきさんが調査した日野市政の課題を聞き、身を切る改革で捻出できる財源で市民サービスを向上させる決意を紹介いたします。

高すぎる下水道料金

伊東ひであきさんは日野市の高すぎる下水道料金を指摘。一覧表で周辺自治体の主な下水道料金を示していますが、日野市の下水道料金がいかに高いかわかります。4人家族の平均的な使用量で下水道料金を比較したところ、例えば府中市はひと月当たり

	下水道料金 (円)	府中市を1とすると
府中市	876	1.0
調布市	1,193	1.4
三鷹市	1,466	1.7
立川市	1,549	1.8
国立市	1,760	2.0
日野市	2,278	2.6

税込みで876円、調布市は1193円、立川市が1549円です。
東京都水道局の情報をもとに伊東ひであきが作成

では下水道料金（下水道）はどうか。昭島市や羽村市など水道事業を独自に行っている一部の自治体を除き下水道料金は同一料金です。

実は水道事業は東京都が行っているため水道料金の地域間格差がありません。ところが下水道事業は各自治体が行っているため、自治体ごとに料金が異なります。市民サービスに直接する下水道料金に地域間格差が生じる原因はここにありました。

下水道料金が安い府中市に比べて、表の中で最も高い日野市は、4人家族の平均的な使用量で1カ月1402円、年間で1万7千円も多く下水道料金を支払っていることになりました。この負担感をどう考えるのか。今こそ市民が声を上げるときに來ていると伊東ひであきさんは語ります。

身を切る改革

日本維新の会は全国各地で身を切る改革を断行しています。まずは市長が自身の給与と退職金をカットする。そうすると市議会議員もそれに従う。市役所の雰囲気が変わり、やがては行政全体が身を切る改革を実践していきます。

この身を切る改革で生まれた財源を幼児教育の無償化、中学生の塾代助成、私立高校までの授業料実質無償化に充てる自治体が続々と登場しています。

例えば右下の一覧は自治体による高齢者のおむつ代助成額です。

	助成額 (円)
葛飾区	9,000
多摩市	8,000
世田谷区	5,000
あきる野市	5,000
西東京市	4,500
日野市	4,100

一覧で明らかのように、伊東ひであきさんは高齢者福祉についても日野市にはまだまだ改善の余地があると話します。

また全国的に当たり前となりつつある中学卒業までの医療費助成についても日野市では昨年10月から自己負担がなくなりましたが依然として所得制限が課されるなど斬新さに欠けています。

朝日新聞の調査「認可保育園に入りにくい自治体」で多摩地区3位となるなど、日野市には多くの政策課題があります。伊東ひであきさんは「まずは行政が身を切るお金で日野市政を変えていきたいと決意を新たにしています。」

規制改革・地方分権

日本維新の会は規制改革政党です。

ここでは日本維新の会が掲げる規制改革・地方分権に対する政策課題10項目を紹介いたします。

① 規制緩和を断行し、新たな民間活力を育成し産業の振興と経済の活性化を図る。

② 保育サービス・介護サービスにかかる各種規制を緩和し、地域の実情に応じた保育・介護サービスが可能となるよう地方に権限を移譲する。

③ 医療、介護及び保育に関わる事業へ株式会社社参入を可能とする。女性が子育てしながら働き続けるため多様な支援サービスを受けることができるよう障壁となる規制を緩和。

④ 株式会社農地所有を解禁する。

⑤ 既得権化している電波の割り当てを競争を原則としたオークション等を活用し、再配分する。

⑥ 大規模災害時には被災地地方公共団体の長に復旧復興についての一部権限を時限的に委譲する。

⑦ 教育行政について、国と地方の役割分担を見直し地方の判断で適切な体制を選択できるようにする。

⑧ 社会経済活動に関するあらゆる分野における徹底した規制の撤廃及び緩和のための措置に関する法律を制定し、我が国経済の成長の促進を阻害する規制は原則撤廃、撤廃しないこととする規制に関してはその理由を国会に報告する。

⑨ 道州制への移行のための改革を推進するため、統治機構抜本改革基本法を制定する。

⑩ 近い将来予測される東京都周辺の大災害に備え、首都機能のバックアップとして副首都を定め多極分散型国家を実現する。



日本維新の会は日野市が身を切る改革を断行し、なによりも市民サービスの更なる向上をしていくべきと考えています。

日本維新の会の政策に日野市民の皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

伊東ひであき 事務所開きのご案内

日時 1月28日(日) 12:00~
場所 日野市多摩平2-12-4
JR中央線 豊田駅北口 徒歩3分

日野市議会議員選挙
2月11日告示
2月18日投票

伊東ひであきさん
本当の実務家です



伊東ひであき

昭和35年8月20日生

日野市多摩平在住 妻と長女、長男の4人家族
麻布大学獣医学部卒、農薬会社の研究所(研究員)
専門は実験動物学、元議員秘書

日野市多摩平三丁目南自治会 会長
日野市消防団第三分団三部 団員
日野市立第六小学校地域防災会 会長
日野市立第六小学校 評議員
日野市立第四中学校アクションプラン実行委員
日野市立第四中学校 青少年育成会協力
神奈川県立菅高校OB会(菅の根会)会長(平成24年度神奈川県立菅高等学校PTA会長歴任)

* 地域防災対策、少子化・高齢化対策、教育、ペット関連政策に注力